



地域の活動 掲示板

玉ねぎ種まき



9/15

清里地区協議会

カライモ販売会準備



9/26

府本地区協議会

カライモ販売会



9/27

府本地区協議会

歩け歩け大会



10/18

緑ヶ丘地区協議会

コロナに負けるな!

市民活動サポート事業助成金を活用してみませんか

●対象事業 新型コロナウイルス感染症に起因するさまざまな課題の解決に資するもの（生活支援、教育支援、交流活動など）

●対象団体 市内に住所か活動の本拠を有する5人以上の非営利団体で、令和3年3月31日(水)までに対象事業を完了する見込みがある団体

●助成額 上限 10万円

●申請期限 令和3年3月31日(水)

☎ 57-7163

☎ 57-7163



10/14・15

学校給食にくまもとあか牛登場

～県産牛肉等学校給食提供事業～

▶くまもとあか牛を使用したチンジャオロースー



市内小中学校の学校給食に、県産牛肉（くまもとあか牛）を使ったメニューが提供され、子どもたちはいつもと少し違う味を堪能しました。

県の事業を活用して、新型コロナウイルスの影響を大きく受ける「県産の食肉」を育てる農家の方を応援し、子どもたちに県産品をもっと食べて欲しいと企画されたものです。

今後も4回程度、県産牛肉（くまもと黒毛和牛）や県産地鶏（天草大王）を使用したメニューが提供される予定です。

10/15

子どもたちの長寿と幸福を祈願して

～野原八幡宮秋季例大祭 のばらさん～

▶お賽銭を入れ、真剣に祈願する子どもたちの姿が見られました



1カ月早い七五三として知られる、野原八幡宮秋季例大祭（愛称：のばらさん）が行われました。ことは新型コロナウイルス感染症の影響で国選択無形文化財の「風流」と市指定無形文化財の「節頭行事」の奉納は中止されましたが、境内には、色とりどりの着物や凛々しいはかま姿の子どもを連れた家族連れの参拝客の姿が多くありました。5歳の権君、3歳の弥葉ちゃんのお参りに来た福島さん家族（八幡台一丁目）は「子どもたちが元気で健康に育ってほしい」と話しました。

みんなでつくる住みよいまち

自治会は私たちの生活を支えています

☎ 63-1209

自治会とは、地域に住む人たちがお互いに助け合い、協力しながら、自主的に活動している自治組織です。明るく住みよい地域づくりを目指すため、自治会への積極的な加入をお願いします。

災害時の助け合い

大規模な地震や大雨による災害が起きた直後は、消防や警察など行政の救助・支援が行き届かないことがあります。地域での助け合いが重要になります。



地域住民の交流が深まる

イベントや行事などを通じて地域住民の交流を深めることができます。交流が深いと、地域で困ったときや、問題が起きたときに、相談や協力をしやすい人間関係ができます。



犯罪・交通安全から身を守る

自治会が行う防犯パトロールや交通安全指導などが地域の安心・安全につながっています。皆さんが夜道でも安心して歩ける防犯灯の費用は、自治会の会費で運用されています。



地域の課題解決につながる

地域の困り事は自治会を通じて要望することで、行政がよりスムーズに対応できます。会員が増えると、さまざまな意見が集約でき、多くの課題が解決しやすくなります。

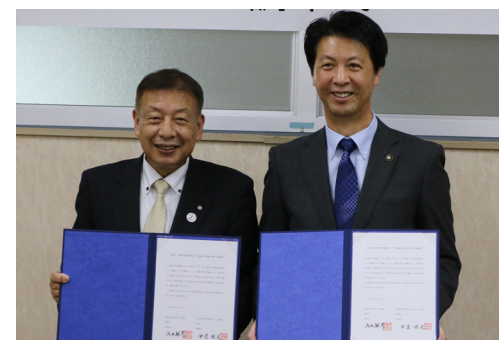


10/16

安心安全な学校給食を目指して

～荒尾市・長洲町学校給食センター協議会調印式～

▶市役所市長公室にて調印式を行った浅田市長（右）と中逸町長（左）



市は長洲町と学校給食センターを共同で設置し、管理運営するための新しい広域連携の組織として協議会を発足し、市役所で調印式を行いました。協議会では、安心・安全でおいしい給食の提供を安定的に行うため、新施設の整備を共同で進めていきます。荒尾市立学校給食センターは、平成20年4月より長洲町の学校給食を受託し、市内全小中学校13校と長洲町全小中学校6校及び荒尾支援学校の計20校に1日約6,000食の給食を提供しています。

10/31

今、避難所に必要なことを考える

～荒尾市総合防災訓練～

▶避難所の運営について話し合う荒尾地区協議会の皆さん



防災体制の確立、関係機関との連携強化や住民の防災意識の向上のため、総合防災訓練が行われ、約300人が参加しました。ことは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、あらかしモールでの一般観覧を伴う訓練は中止され、7月の豪雨や9月の台風で多くの人が避難した避難所運営や、物資輸送などを実施。地域住民も参加した海陽中の訓練では、コロナ禍での避難者の振り分けや、長期避難になった場合の地区への運営引継ぎなど、実践的な訓練が行われました。